

# 上田卸団地だより

編集・発行 上田卸商業協同組合 〒386-0041 長野県上田市問屋町510-2 TEL 0268-22-6649(代) FAX 0268-22-6714  
URL : http://www.ueda-oroshi.or.jp/ E-mail : info@ueda-oroshi.or.jp

新年明けましておめでとうございます

## 飛躍の「午年に」

理事長 丸山 正一

昨年中は組合運営について、皆様のご支援、ご協力をお願いありがとうございました。新たに迎えた今年には、長く続いたデフレ・円高不況から、アベノミクスにより、将来への明るさが見えてまいりました。今年こそは当組合の各社にとり、景況の好転が現実のものになって欲しいものです。

### 商団連会長表彰

卸団地制度創設50周年記念式典が、10月31日に東京ホテルニューオータニで82団地127名参加のもと盛大に行われました。

式典において当組合が、地域経済の活性化に貢献し、団地制度の発展に尽力した功績により優秀組合として、商団連の会長表彰を受けました。

同時に、丸山正一理事長が中小企業庁長官表彰を、高橋牧尋副理事長が中小企業基盤整備機構理事長表彰を、桑原茂実副理事長が商団連会長表彰を各々受賞いたしました。

### まちづくり協定発足

平成26年は、当組合にとり、大きな節目の年になるでしょう。

おかげさまで、数年掛かりで検討を進めてきました「上田卸団地まちづくり協定」が、10月16日に臨時総会を開催し、正



発表会見(左から金井、丸山、高橋、桑原)

式に承認されました。特別委員の方々初め、組合員並びに関係先の皆様のご理解、ご協力に対し、厚くお礼申し上げます。「まちづくり協定」の内容につきましては、組合のホームページへ掲載しております。

また、12月6日に、ご指導いただいた上田市都市計画課・商工課、上田商工会議所、中小企業団体中央会、取引先金融機関、報道関係各社にご案内して「まちづくり協定」の発表会を開催しました。

これからは、組合員との締結調印、賛助会員との締結調印と進め、本年4月1日から正式発足となります。

関係先企業の皆様には、この協定により、卸団地の企業立地の環境が整うことをご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

### 組合設立50周年

本年9月には、組合の設立50周年を迎えます。すでに発表されている通り、10月17日に記念式典並びに記念祝賀会が催

されます。設立以来、先人が努力され堅実な組合の運営を続けてきました。

50周年を機に、新たな50年に向けて、飛躍の年にしたいものです。

50周年記念事業につきましては、特別委員会(委員長桑原茂実副理事長)でいろいろ検討を重ねております。

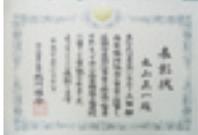
内容についてのご意見は事務局へご提案ください。

### 遊休土地の譲渡

組合の資産で30000万円を超える資産の譲渡などは、総会での承認が必要と、定款第44条に定めてあり、12月13日に臨



商団連会長表彰状



中小企業庁長官賞



商団連会長賞



基盤整備機構理事長賞

時総会を開催しました。3年前に組合が債務の肩代わりという形で、元組合員から取得した土地を、現組合員の株式会社システムプランへ譲渡することが決まりました。

現存の建物は、全てを解体して更地での譲渡となります。引渡し時期は本年3月を予定し、現在、解体工事中であります。

この譲渡により、組合の借入債務は償還されま

以上、昨年は様々な出来事が多かった年でしたが、本年は更なる飛躍の「午年」になりますよう祈念し、年頭のご挨拶いたします。

# 五十周年の新春を迎え

副理事長 桑原茂実（五十周年特別委員長）

当組合は昭和39年に設立されました。

還暦が真近な私は、この時期が日本経済が一番活気があり、国民皆に夢があった頃ではないかと思っています。

組合員は、それまでは市街地で事業を営んでおりました。

の狭隘化、駐車場不足等を解決すべく、経営の近代化を計り、変化する流通に対応し地域経済発展に寄与するため店舗等集約化制度のもと中小卸売業者を中心に協同組合を設立しました。

その後十年ほどで第二期工事が完成し最大45社で構成される時期もありましたが、様々な要因により現在は33社となっています。

社会構造は大きく変化し長野県においても20年後には約30万人の人口減少が予測される少子高齢化、国内市場の減少。加えて卸売業の再編統廃合、流通の中抜き等厳しい環境であります。

先人たちが積み上げてきた過去を振り返り、未来へのメッセージを伝える。の主旨のもと、組合員全体のご協力を頂き事業を行っていきたくと思っています。よろしく

お願い申し上げます。

『地域社会、関係各位への感謝と今後の組合活性化のため』の理念のもと現在の時点で委員会決定している事項は左記の通りです。

- 一、記念誌、並びに紹介リーフレットの作成
- 二、10月5日(日曜日)卸団地において物品販売や地域組合のPRイベント
- 三、組合会館大ホールの愛称公募
- 四、10月17日(金曜日)記念式典、祝賀会の開催

まだまだ、内容に不備な点が多くありますが、たくさんの組合員の皆様から忌憚のないご意見をお聞きしていきたいと考えております。どうぞよろしくお願ひします。

## 「まちづくり協定」スタート

12月6日卸会館会議室において関係者を招き、発表会を行いました。

2013年(平成25年)12月8日 東信ジャーナルより



地図を前に都市計画課川課長・小岩井圭彦

### 魅力ある上田卸団地へ「まちづくり協定」制定

上田市秋和開原町の組合員が新たな事業を行う上田卸商業協同組合丸山正一理事長・33社は「上田卸団地まちづくり協定」を制定し、6日、その内容を発表し、協定は同団地内で維持し、魅力ある卸団地のまちづくりを推進する。とが目的。

協定は同団地内の約14万5200㎡。対象者は同組合の組合員、賛助会員、区域内の土地所有者、建物所有者、この対象者が所有する権利を有することとなる。協定を遵守する。とが定められている。協定は同団地内の約14万5200㎡。対象者は同組合の組合員、賛助会員、区域内の土地所有者、建物所有者、この対象者が所有する権利を有することとなる。協定を遵守する。とが定められている。協定は同団地内の約14万5200㎡。対象者は同組合の組合員、賛助会員、区域内の土地所有者、建物所有者、この対象者が所有する権利を有することとなる。協定を遵守する。とが定められている。

2013年(平成25年)12月7日 信濃毎日新聞より

### 上田卸団地 乱開発防ぐ協定

来年度から建物用途や色調制限

上田市秋和の上田卸団地で、組合員33社、賛助会員19社、団地内の土地と建物との所有者との間で結んだ、建設できる建物は卸売業に関する制限などを盛り込んだ「上田卸団地まちづくり協定」を、組合員など結んだ。乱開発を防ぎ、円滑に営業活動をする。6日、団地内の卸会館で関係者向けの発表会を開いた。協定の区域は約14・5万㎡の卸団地内。今年10月に開いた臨時総会での議決を経て制定された。発表会で、丸山正一理事長は「安心して働ける環境を守っていきたい」とあいさつした。

2013年(平成25年)12月8日 信州民報より

### 上田卸商業協同組合が「まちづくり協定」発表

来年4月1日から施行

上田市秋和の卸業者らに基づき設立する「上田卸商業協同組合」(丸山正一理事長)は6日、上田卸団地の商業環境を守るための「上田卸団地まちづくり協定」を発表した。平成26年4月1日から施行する。同団地は昭和39年、国営団地として開発された。約14万5000平方メートルの広大な敷地に、約1000戸の家が建ち、卸業者の住宅、小売店、飲食店、木製、紙製、合成樹脂製の包装材の製造工場など、卸売市場や卸業者が事業を営むための施設が整備された。この日は卸組合会館で丸山理事長、高橋牧野副理事長、桑原茂実副理事長、金井清一事務局長がこうして内容を発表し、あいさつで丸山理事長は以前にマンション計画を阻止したことがきっかけと説明し、「今回の協定を遵守する上で、環境を整え、より良くするためのスタート地点としたい」と期待を込めた。

家具、洋服、ギフトなどの卸業や青果・鮮魚市場、ソフトウェア開発、冷凍倉庫業、運送業などが社屋を構え、多様なわたる業務を遂行している。平成17年以降、同団地内にマンションや福祉施設建設の話が持ち上がったことから、卸団地の商業環境を守り適切な景観形成を図りたいと、委員会を組織し、まちづくりの目標を「人、物、情報のときめき結束点をめざして」とし、魅力ある卸団地の実現を目指して協定づくりを進めてきた。協定書では団地内に建てられる建築物や団地内の土地利用、広告物などの形態を制限。さらに理事長を委員長として理事、監事ら全員で委員会を構成し、それらの変更届け出を審査するというもの。協定は同組合と組合員、賛助会員、土地所有者とで締結した。丸山理事長は「経済行為の中で団地の環境を守る」ことが目的と明言し、「安心して働くことができ、営業活動環境を整備されたまちを目指して進めていく」とあいさつした。同組合は来年、創立50周年を迎え、10月には祝賀会を予定している。

## 卸団地企業紹介

### 諏訪冷蔵株式会社



当社は昭和25年、丸一冷蔵(株)(諏訪倉庫(株)関連会社)として設立しました。当初は上田駅前製氷販売・冷凍保管業を行っていましたが、昭和48年、現在地へ移転しました。

当時はまだ、氷は生活必需品でしたが、一般家庭用冷蔵庫の急速な普及に伴い製氷需要は激減、製氷販売業務を廃止しました。昭和50年に現在の社名へ変更し、平成14年には諏訪倉庫(株)上田支店内にも営業所を開設、今年で創立63年目を迎え今日に至っております。

当社の主な取扱品は業務用食品原料で、平成10年よりQAI認証オーガニック製品指定倉庫となり、長野県下トップクラスの収容能力を備えた自動制御式冷凍・冷蔵倉庫を保有し、県内外の食品関連会社様に広くご利用いただいております。

近年の食品業界を取り巻く環境は非常に変化が激しく、厳しい競争の時代となっています。その中で、当社は消費者の「食」に対する「安全・安心意識」の高まりと、健康で豊かな生活を求める社会的ニーズの増大に対応すべく、「安全な食品流通システム」を提供し、地域食品業界及び食品流通の円滑化に広く貢献することで、今後も地域経済の発展に寄与して参りたいと思っております。

### 千代田電資株式会社



長野営業所事務所棟

当社は、昭和12年に千代田区丸の内に「産業貿易商会」として創業し、自動車・船舶・航空機の電装部品輸入と国内販売、電気絶縁材料の販売を開始しました。

昭和23年に商号を「千代田電資(株)」に改称しました。

芝営業所、熊谷営業所開設の次に、昭和41年に上田市に長野営業所を開設し上田卸商業協同組合には昭和47年に加入しております。

現在では、電気絶縁資材・各種電線の製造、加工販売、電気工事材料・電気機械器具製造販売を中心に営業しています。

当社は、顧客満足(CS)向上を迫及する為に、あらゆる仕事の品質向上に努めています。

「CS向上」を追求するうえで、商品並びにサービスの品質管理は、当社の重要課題と認識し、製品に関わる情報の収集や開示によって利害関係者との「良好なコミュニケーション」の維持を図っています。

千代田電資を支えて下さる皆様との、コミュニケーションを大切にしながら、企業活動が社会貢献に繋がると信じ、皆様と共に明るい未来へとまい進していきたいと思っております。

### 有限会社 中津屋商店



当社の主力商品

弊社は、千曲市森に創業。その後大正2年に上田市天神町に拠点を移し、酒類小売業を開始。

更に昭和41年には新規事業として酒粕の卸売を開始し、卸団地に進出しました。このような業態は県内でも大変珍しく、それ以来品質と安全性は基より、美味しさを追求し、お客様の信頼をいただけるよう努力しております。

江戸時代から続く酒粕文化は、地元信州ならではの食習慣へと形を変えて現在に至っております。特にここ上田は酒粕の食文化が根付いているため、酒粕の需要は高く、私どもは酒粕の卸売を専業としております。長年にわたり培った蔵元との繋がりを生かした「吟醸・大吟醸」の高品質の酒粕を扱っているのが最大の特徴です。

酒粕の製品化は新酒の時期から翌年の春が最盛期で、蔵元から直送された新酒をしばったばかりの酒粕をタンクに貯蔵し、約半年熟成させたものを皆様の食卓にお届けしております。

今後も消費者の皆様へ高品質な商品を提供し、地域の食文化を伝えていくよう努めてまいりたいと考えております。

### 長野県 連合青果株式会社



昨年10月に完成した大型倉庫

当社は昭和39年に上田中央青果株式会社として創業しました。昭和49年に社名を現

在の長野県連合青果株式会社へと改称、佐久、松本、諏訪、長野、群馬県伊勢崎、と県内外に市場を展開し、それぞれ流通の拠点として皆様のお手元へ新鮮な野菜、果物をお届けするお手伝いをさせていただいております。昨年度には創立50周年を迎えることができました。

当社の使命は皆様の食卓に毎日あがる野菜や果物を生産者や出荷団体と小売業者などの間に立ち、取引価格の適正化や全国各地からの豊富な品揃えによる安定供給によって地域の皆様の食に貢献することです。また、全国屈指の農業生産を誇り、東京・名古屋・大阪という大消費地の中央に位置する長野県という立地を活かし、上田市を基点に販売先を全国へと広め、長野県ブランドの発信を進めてまいります。

流通業は大きな変革期を迎えています。人口の減少と高齢化、農業人口の減少、小売業界の変化。当社は新しい時代にも「選ばれる企業で在り続ける」ことを目標として掲げ、全てのお取引先様のよきパートナーとして信頼と期待に応えることを目指してまいります。

# 事業報告

10月～12月

## 大感謝祭

10月10日(木)・11日(金)  
来場者 195名

お得意先小売業者様に、感謝の気持ちを込めて、大抽選会を開催しました。



## 秋季ゴルフコンペ

浅間高原CC  
10月27日(日)

個人優勝 久保田秀彦(ムラタヤ)  
準優勝 児玉 広司(システムプラン)  
団体優勝 (株)ユダ

## バスツアー

もみじ湖～奈良井宿

11月10日(日)

もみじ湖の紅葉が大変美しく、また、奈良井宿では地元のガイドさんの説明を聞きながら、散策しました。



## 秋の一斉清掃

10月29日(火)



多くの方々のご参加で、道路のごみ拾い、草取りを行いました。卸団地内が大変きれいになりました。



## 十日会視察研修

高山卸商業センター  
11月27日(水)

高山卸商業センターとの活発な情報交換を行った後、飛騨牛の昼食、まつりの森では、祭り屋台や世界一の太鼓を見学しました。



## ボウリング大会

プラザボウル 11月22日(金)

優勝 久保田智絵(卸組合)  
準優勝 花岡 厚良(ムラタヤ)

## 組合の動き(抜粋)

(会議などの出席状況)

- 10月1日 久保田智絵職員入局
- 2日 正副理事長会
- 3日 中金会ゴルフ大会(軽井沢) 事務局長
- 4～5日 関東連絡協議会(横浜) 事務局長
- 10日 理事会 建物解体工事について
- 10～11日 大感謝祭(会館ホール)
- 15日 柳沢園子職員退職
- 16日 臨時総会上田卸団地まちづくり協定について 30名
- 21日 中間監査 監事2名
- 22日 秋季健康診断(会館ホール) 受診43名
- 50周年記念事業特別委員会 5名
- 27日 卸団地ゴルフコンペ(浅間高原CC) 24名
- 29日 秋季一斉清掃 近隣企業参加 55名
- 環境委員会 夏花の抜き取り 9名
- 31日 卸団地制度50周年記念式典(東京) 正・副理事長
- 11月3～4日 卸団地青年部 視察研修(東北方面) 9名
- 7日 理事会 まちづくり協定締結方法について
- 中金会経理担当者会(長野) 久保田
- 中央会事務主任者会(祥園) 事務局長
- バスツアー 奈良井宿散策 35名
- 10日 問屋町会 理事会報告 建物解体工事について 18名
- 15日 ボウリング大会(プラザボウル) 35名
- 22日 県青年中央会 本会創立40周年記念事業(長野) 3名
- 25日 青年中央会上小支部講習会(ささや) 2名
- 50周年記念事業特別委員会 5名
- 26日 十日会視察研修(高山卸商業センター) 7名
- 27日 事務主任者会総会(松本) 事務局長
- 28日 卸売問題懇談会(松本) 4名
- 12月3日 長野商工中金会第2回役員会(長野) 理事長
- 4日 環境委員会 花苗植栽 9名
- 5日 中央会上小支部役員会(祥園) 理事長
- 6日 正副理事長会
- 10日 上田卸団地まちづくり協定発表会(卸会館) 10社
- 11日 理事会 臨時総会招集について
- 13日 十日会忘年会(東急イン) 18名
- 17日 臨時総会 旧堀内商店跡地の売却について 31名
- 26日 50周年記念事業特別委員会 6名
- 健康管理事業推進委員会(松本) 事務局長